

2021年5月20日
ぶぎん地域経済研究所
ちばぎん総合研究所

埼玉県・千葉県企業アンケート調査の比較分析（第10回）

「ぶぎん地域経済研究所」および「ちばぎん総合研究所」では、千葉・武蔵野アライアンス（注）の下で、埼玉県・千葉県の企業アンケートに、「21年度の国内景気見通し」、「従業員のベースアップ」について共通の調査項目を設定し、両県の比較分析を行った。

（注）16年3月に締結した包括提携契約。

埼玉県アンケート：ぶぎん地域経済研究所

業種別・規模別回答企業数

（単位：社）

	合計	企業規模	
		100人以上	100人未満
全産業	195	92	103
製造業	109	49	60
紙加工品等	11	4	7
化学・プラスチック・ゴム製品	12	8	4
鉄鋼・非鉄金属	10	5	5
金属製品	7	3	4
その他素材型	10	0	10
一般機械器具	10	5	5
電気・情報通信機械器具	10	1	9
電子部品・デバイス	9	3	6
輸送用機械	8	7	1
精密機械	5	4	1
飲・食料品	7	3	4
印刷・同関連業	5	5	0
その他製造業	5	1	4
非製造業	86	43	43
一般建設	16	5	11
住宅建設	4	3	1
卸売	14	3	11
小売	19	12	7
運輸・倉庫	11	9	2
不動産	7	1	6
その他非製造業	15	10	5

調査要領

1. 対象企業…埼玉県内に本社または事業所を有する企業
2. 方法…郵送によるアンケート方式
3. 実施時点
配布：2021年1月18日
回収：2021年2月24日
4. 回答状況…調査対象企業 538社
内有効回答数 195社
有効回答率 36.2%

（注）調査票の回収数は195だが、設問ごとで回答数が異なるため、各問での有効回答数（母数：n）は異なる。

（注1）従業員100人以上を「企業規模の大きい企業（大企業）」に、従業員100人未満を「規模の小さい企業（中小企業）」とした。

（注2）その他素材型は、繊維・衣服・その他の繊維、木材・木製品・家具、窯業・土石の3業種。

千葉県アンケート：ちばぎん総合研究所

業種別・本社所在地別・規模別回答企業数

(単位：社)

	合計	本社所在地		企業規模	
		県内	県外	大企業	中小企業
全産業	214	191	23	87	127
製造業	111	96	15	25	86
食料品	19	14	5	7	12
石油・化学	12	8	4	4	8
プラスチック	9	8	1	2	7
窯業・土石	9	9	0	2	7
鉄鋼・非鉄金属	10	10	0	0	10
金属製品	14	10	4	3	11
一般・精密機械	9	9	0	2	7
電気機械	10	10	0	3	7
輸送用機械	9	9	0	2	7
その他製造	10	9	1	0	10
非製造業	103	95	8	62	41
建設	14	13	1	5	9
運輸・倉庫	8	8	0	2	6
卸売	19	15	4	10	9
小売	18	18	0	15	3
ホテル・旅館	9	8	1	5	4
サービス	35	33	2	25	10

調査要領	
1. 対象企業…	千葉県内に本社または事業所を有する企業
2. 方法…	郵送によるアンケート方式
3. 実施期間…	配付：2021年3月1日 回収：2021年4月12日
4. 回答状況…	調査対象企業 563社 内有効回答数 214社 有効回答率 38.0%

(注) 調査票の回収数は214だが、設問ごとで回答数が異なるため、各問での有効回答数(母数:n)は異なる。

注) 大企業、中小企業の区分は下記による。

大企業…資本金1億円以上。ただし、卸売業は5,000万円以上、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円以上とする。

中小企業…資本金1億円未満。ただし、卸売業は5,000万円未満、小売業、ホテル・旅館業、サービス業は3,000万円未満とする。

* (参考) 埼玉県と千葉県の比較

	単位	年次	全国	埼玉県	千葉県		
					順位	順位	
事業所数	カ所	2016	5,340,783	240,542	5	188,740	9
住宅着工	戸	2020	815,340	48,039	5	43,070	6
商店数	千店	2016	1,355	57	6	47	9
商品販売額	百億円	2015	58,163	1,835	7	1,351	9
製造品出荷額等	百億円	2019	32,213	1,372	6	1,252	8
延べ宿泊者	万人	2020	30,480	317	32	1,413	5

事業所数(2016年)

(単位:カ所、%)

	埼玉県		千葉県	
		構成比		構成比
全産業(公務を除く)	240,542	-	188,740	-
農林漁業	576	0.2	1,001	0.5
鉱業, 採石業, 砂利採取業	33	0.0	60	0.0
建設業	25,762	10.7	19,912	10.5
製造業	26,691	11.1	11,082	5.9
電気・ガス・熱供給・水道業	132	0.1	131	0.1
情報通信業	1,684	0.7	1,457	0.8
運輸業, 郵便業	6,909	2.9	5,504	2.9
卸売業, 小売業	56,851	23.6	47,017	24.9
金融業, 保険業	3,049	1.3	2,821	1.5
不動産業, 物品賃貸業	16,584	6.9	12,233	6.5
学術研究, 専門・技術サービス業	8,573	3.6	6,831	3.6
宿泊業, 飲食サービス業	27,883	11.6	25,104	13.3
生活関連サービス業, 娯楽業	22,637	9.4	19,310	10.2
教育, 学習支援業	9,056	3.8	6,903	3.7
医療, 福祉	20,058	8.3	16,820	8.9
複合サービス事業	937	0.4	981	0.5
サービス業(他に分類されないもの)	13,127	5.5	11,573	6.1

(出所: 経済センサス活動調査)

産業分類別 製造品出荷額等(2019年・従業員4名以上)

(単位: 億円、%)

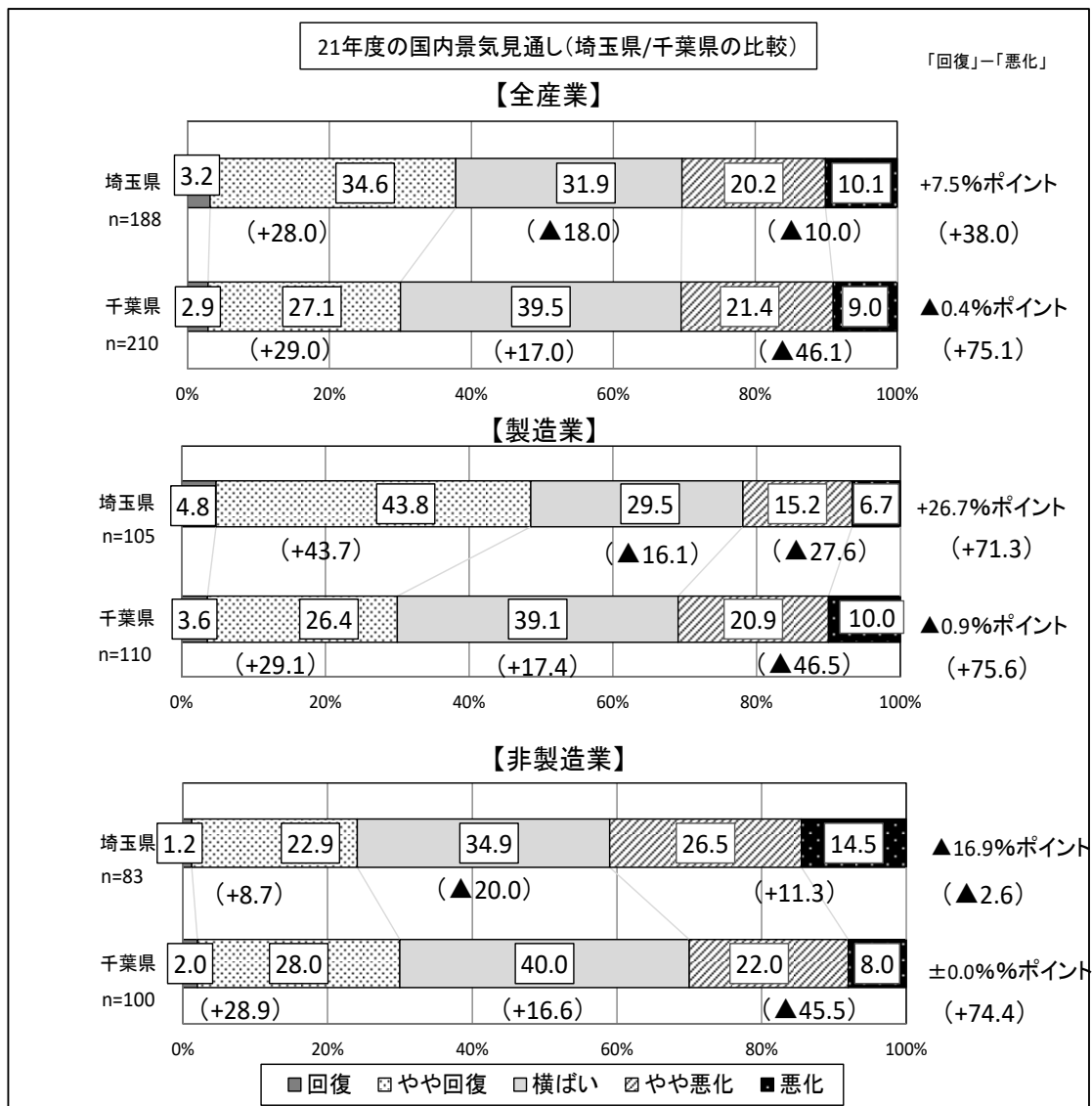
	埼玉県		千葉県	
		構成比		構成比
製造業合計	137,244	-	125,216	-
素材型	42,788	31.2	77,695	62.0
化学	17,250	12.6	21,999	17.6
石油製品・石炭	386	0.3	28,480	22.7
鉄鋼	3,764	2.7	16,269	13.0
プラスチック	6,786	4.9	2,895	2.3
窯業・土石	2,805	2.0	2,971	2.4
繊維	851	0.6	244	0.2
非鉄金属	5,904	4.3	3,429	2.7
パルプ・紙・紙加工品	5,042	3.7	1,407	1.1
加工型	58,694	42.8	22,700	18.1
輸送用機械器具	24,232	17.7	1,314	1.0
電気機械器具、情報通信	8,621	6.3	3,263	2.6
業務用機械器具	4,775	3.5	1,423	1.1
生産用機械器具	5,724	4.2	5,729	4.6
電子部品・デバイス・電子回路	3,376	2.5	1,786	1.4
はん用機械器具	4,176	3.0	2,285	1.8
金属製品	7,790	5.7	6,899	5.5
生活関連・その他	35,762	26.1	24,822	19.8
食料品	20,408	14.9	16,236	13.0
飲料・たばこ等	2,044	1.5	3,892	3.1
印刷・同関連業	7,008	5.1	1,061	0.8
その他(ゴム・家具等)	6,301	4.6	3,633	2.9

(出所: 工業統計調査)

21年度の国内景気見通し

21年度の国内景気見通しは、埼玉県で「回復」が「悪化」を上回り（全産業）、千葉県では、「回復」、「悪化」がほぼ同割合となった（同）。前年度の調査結果と比べると、両県ともに「回復」先が増加し、「悪化」先が減少した（前年度調査は、「拡大」、「横ばい」、「後退」の設問から選択）。

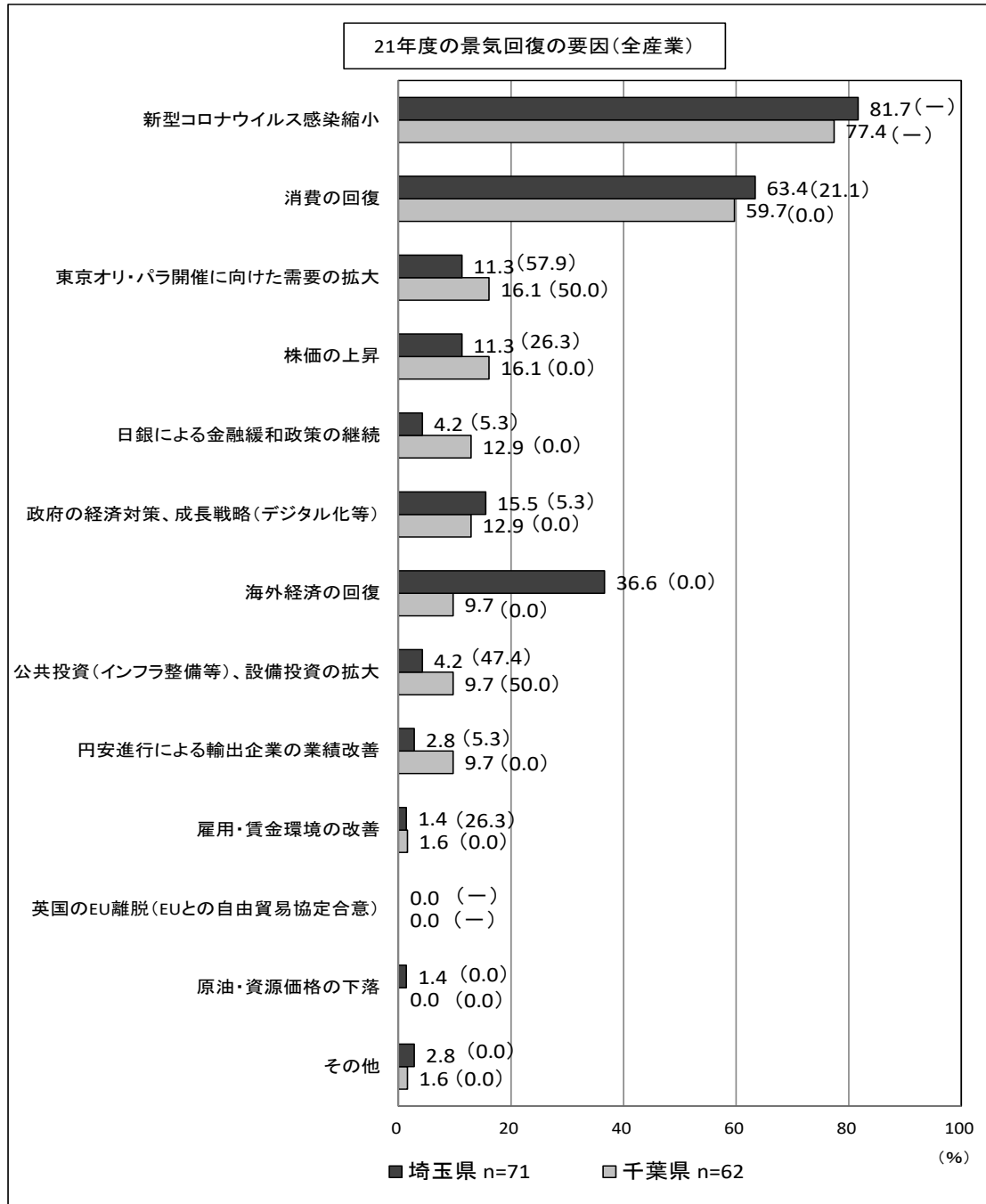
製造・非製造業別では、埼玉県では製造業で「回復」が「悪化」を上回る一方、非製造業では「悪化」が「回復」を上回ったのに対し、千葉県では「回復」、「悪化」がそれぞれ、ほぼ同割合であった。



(注) 20年度の調査では、「拡大」、「やや拡大」、「横ばい」、「やや後退」、「後退」の設問から選択。
 ()内は各県の前年度調査比、単位%ポイント。

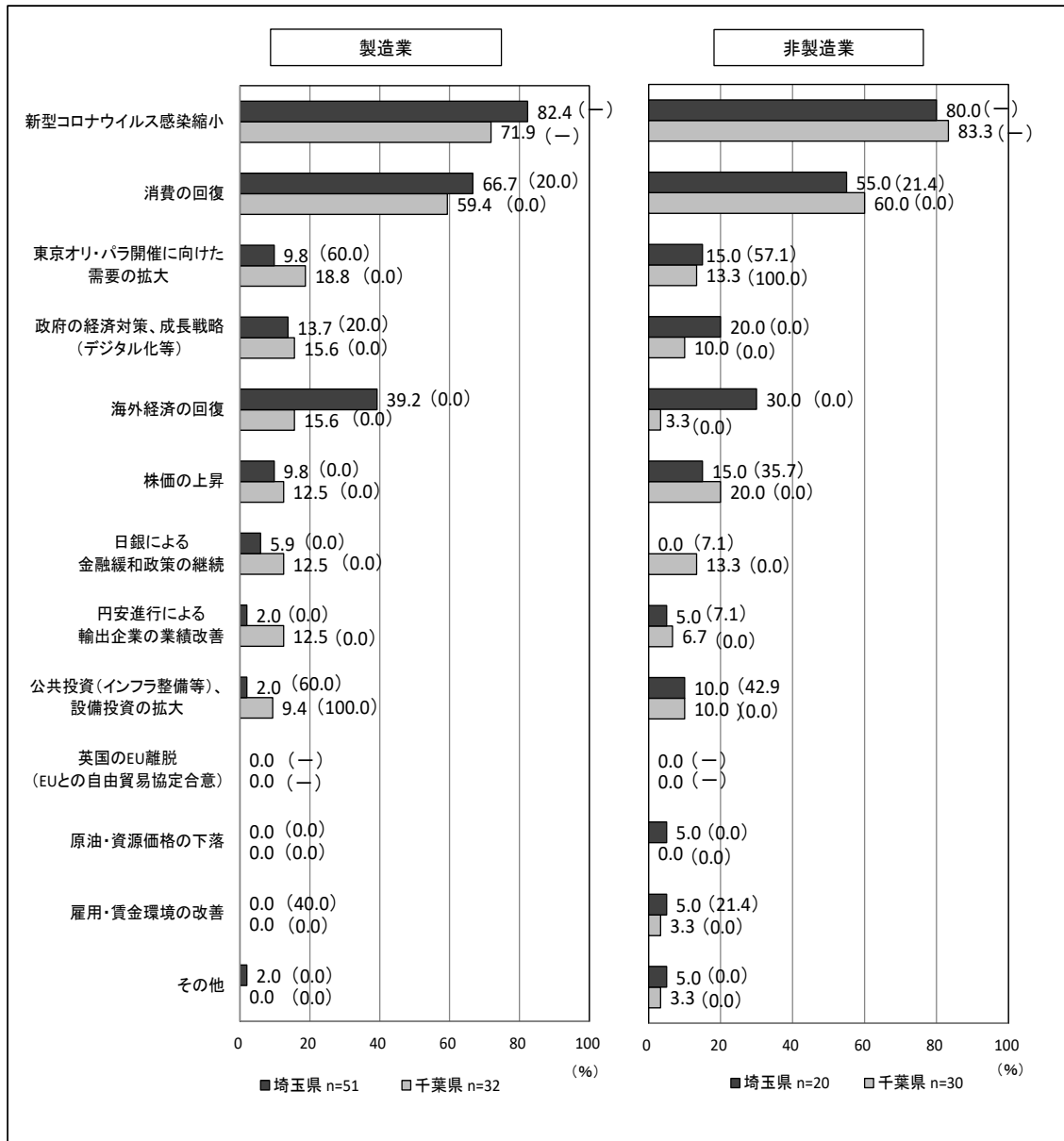
21年度の景気回復の要因

景気回復の要因は、両県とも「新型コロナウイルス感染縮小」を挙げる先が最も多く、次いで「消費の回復」となった。埼玉県では「海外経済の回復」、「政府の経済対策、成長戦略（デジタル化等）」がこれに続く一方、千葉県では「東京オリ・パラ開催に向けた需要の拡大」、「株価の上昇」が続いた。



(注) ()内は各県の20年度調査実績、複数回答可、単位%
 (—)内は今回よりアンケート項目に追加

製造・非製造業別では、両県ともに、いずれの業種も「新型コロナウイルス感染縮小」、
「消費の回復」を挙げる先の割合が高く、埼玉県では、「海外経済の回復」がこれに続いた。

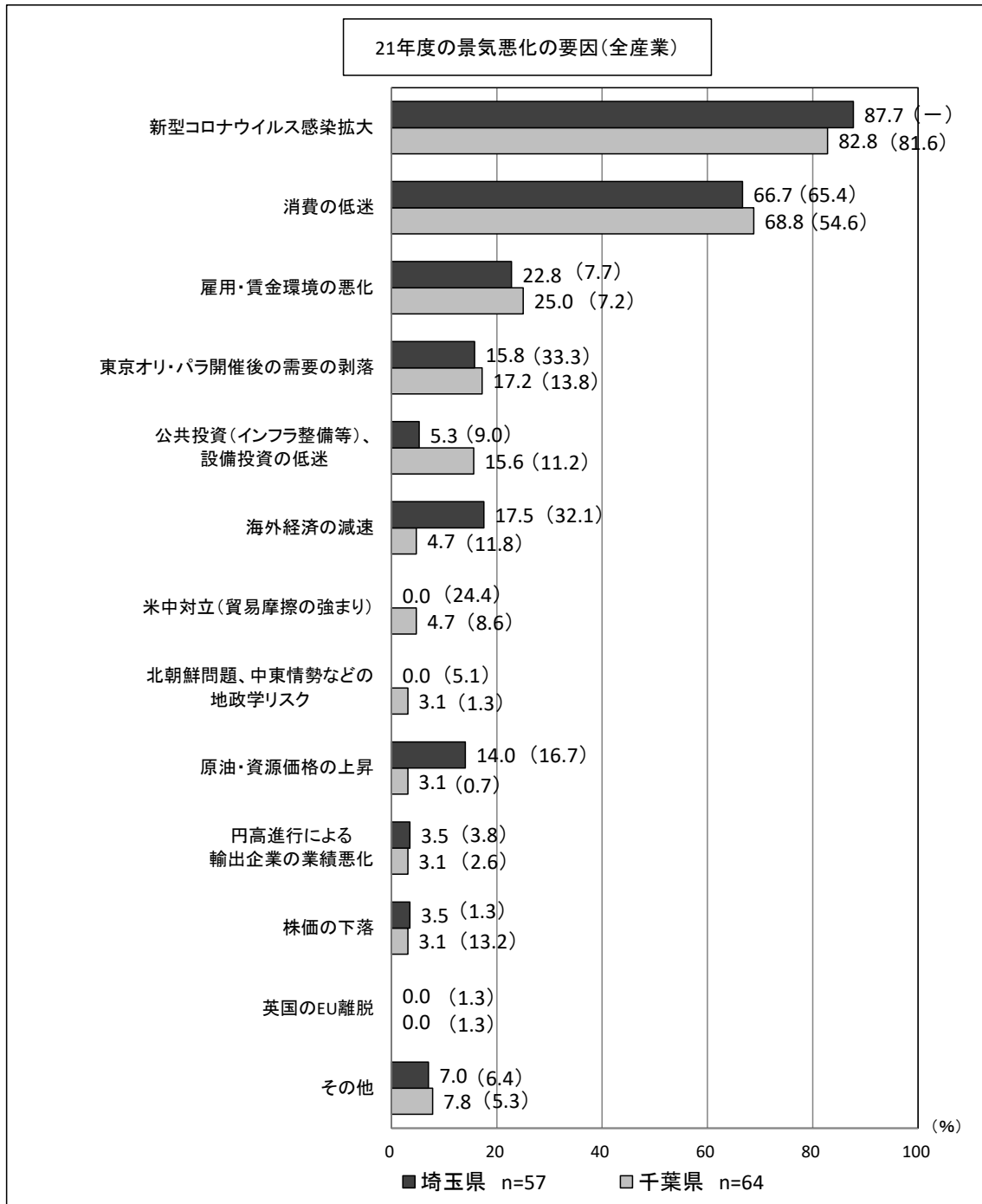


(注) ()内は各県の20年度調査実績、複数回答可、単位%
(-)内は今回よりアンケート項目に追加

		調査期間	回答数	期間中の日経平均 終値平均	期間中の為替相場 (ドル円)の平均
埼玉	今回	21年1月18日～2月24日	195	29,068.30円	105.57円/ドル
	前年	20年1月17日～2月19日	194	23,566.21円	109.58円/ドル
千葉	今回	21年3月1日～4月12日	214	29,420.23円	109.46円/ドル
	前年	20年3月2日～4月13日	202	18,897.53円	107.71円/ドル

21年度の景気悪化の要因

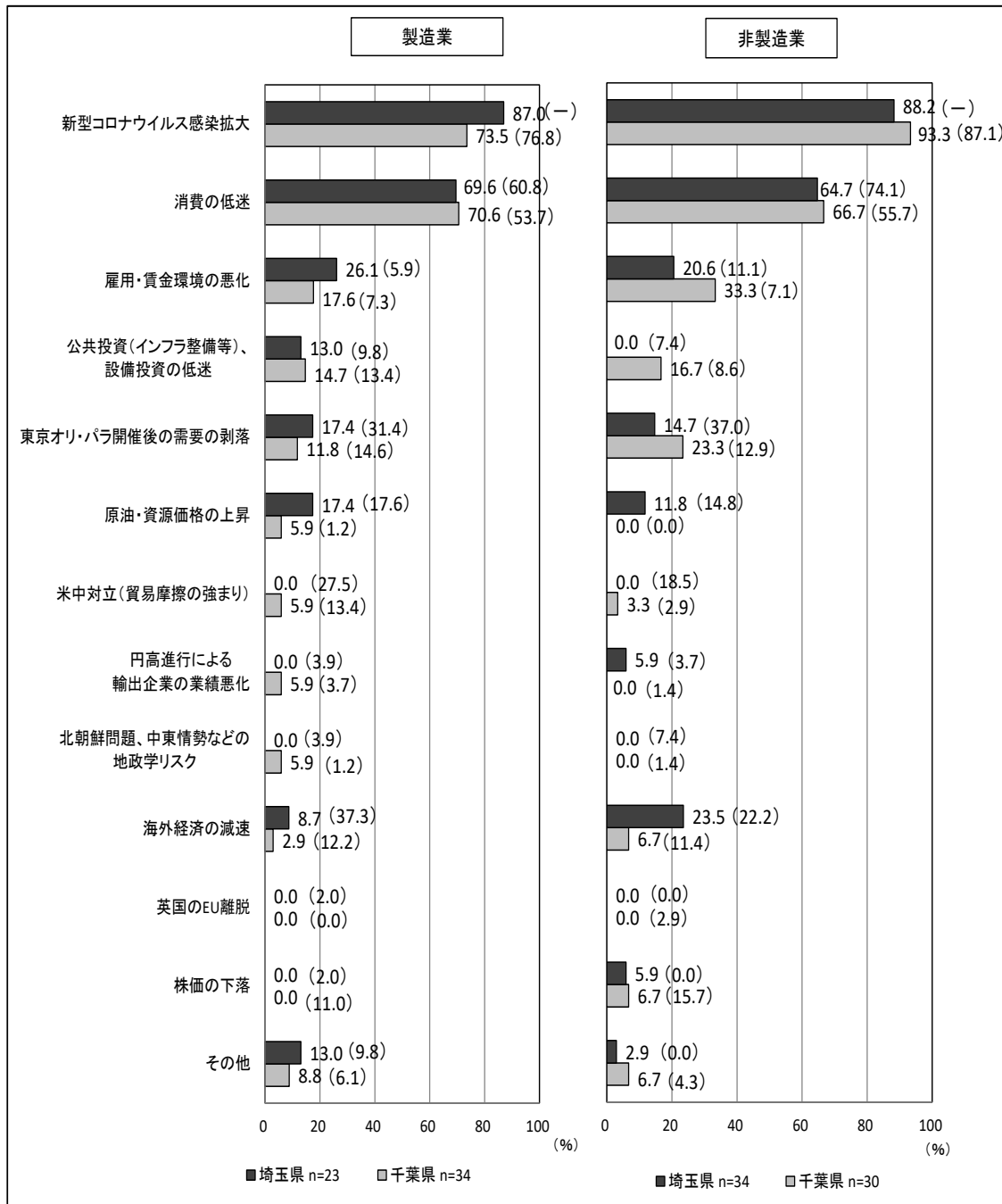
景気悪化の要因は、両県とも「新型コロナウイルス感染拡大」を挙げる先が最も多く、「消費の低迷」、「雇用・賃金環境の悪化」がこれに続いた。



(注) ()内は各県の20年度調査実績、複数回答可、単位%

(—)内は今回よりアンケート項目に追加

製造・非製造業別では、両県ともに、いずれの業種も「新型コロナウイルス感染拡大」、
「消費の低迷」を挙げる先の割合が高かった。



(注) ()内は各県の20年度調査実績、複数回答可、単位%
(―)内は今回よりアンケート項目に追加

(ベースアップ実施状況)

21年度のベースアップ実施（予定を含む）企業の割合は、千葉県、埼玉県ともに前年度を下回った（全産業）。

製造・非製造業別にみると、両県いずれも、製造業・非製造業とも前年度を下回った。

ベースアップ実施企業割合(定昇は含まない)

		埼玉県		千葉県	
全産業 (%) (n=埼玉195 千葉197)	前年度 (前年度比)	17.9	27.0 (▲9.1)	11.7	27.2 (▲15.5)
	前年度 (前年度比)	18.3	23.3 (▲5.0)	8.6	29.0 (▲20.4)
製造業 (n=埼玉109 千葉105)	前年度 (前年度比)	17.5	31.4 (▲13.9)	15.2	25.3 (▲10.1)
	前年度 (前年度比)				

ベースアップ予定額（全産業）は、両県ともに前年度を下回った。

製造・非製造業別にみると、製造業では埼玉県が前年度を上回る一方、千葉県では下回った。

非製造業では、両県ともに前年度を下回った。

賃上げ予定額(定昇は含まない)

		埼玉県		千葉県	
全産業 (1人当たり平均、円) (n=埼玉71 千葉51)	前年度 (前年度比)	875	1,024 (▲149)	783	1,018 (▲235)
	前年度 (前年度比)	1,164	1,057 (+107)	604	820 (▲216)
製造業 (n=埼玉44 千葉35)	前年度 (前年度比)	414	968 (▲554)	966	1,307 (▲341)
	前年度 (前年度比)				

以上